

KGA

'89 冬季号

1989年12月20日発行



No. 29

目次

特別インタビュー 明日では遅すぎる ——ジュニア育成に懸ける—— KGA常務理事・JGAジュニア実務委員長 松野京三	1
平成元年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技	4
平成元年度 関東グランドシニアゴルフ選手権競技	6
JGAハンディキャップは今(3) 10年たってもハンディは変わらず	8

ゴルフQ&A	10
1990年度 関東ゴルフ連盟主催競技実施要項	12
分科委員会	14
月例競技成績表(9・10月)	15
平成2年度 月例競技日程表・お知らせ	16

表紙photo 我孫子ゴルフ倶楽部

 関東ゴルフ連盟

明日では遅すぎる

——ジュニア育成に懸ける——

KGA常務理事
JGAジュニア実務委員長 松野京三

聞き手 KGA広報委員 杉山通敬

写真 KGA広報委員 石川博英

ゴルフ場入場者 8,100万人
売上 1,100,000,000,000円(日本ゴルフ場事業協会、88年度調)
数字だけ見れば今ゴルフ界は“わが世の春”
しかし、ゴルファーの質となると……
そのためにもジュニア・ゴルファーの育成は
JGA、KGAに課された焦眉の問題だ

——今、なぜジュニア育成なのか、という疑問を持っている人が多いと思います。金がかかるし、コースも練習場も混み合ってるし、現状では無理だ。一人前の大人になってから始めればいいではないか、というわけです。

「確かにそういう意見を持っている人が多い。しかしですね、立派なジュニアを育てるのは大人の義務だと思いますよ。これはゴルフに限ったことじゃない。青少年の非行化が問題になっていますけど、大人の社会が乱れているから子供にも反映する。悪くなってから良くするのは大変に骨が折れるわけですね。実は何年前か、セント・アンドリュースへ行って日本でいう支配人にあたる人に言われたことがある。日本では旅の恥はかき捨て、という諺があるそうだが本当なのかって言うわけです。なにを言いたいのかわからないので返答に窮してますと、街のゴルフショップでクラブを買ってきて、いきなりオールドコースでプレーする日本人がいて、なにせ初ラウンドなものだから空振りはある、チョロはするで、



松野京三氏

前へ進まない。見かねてマーシャルが行って2番ホールで中止させたそうです。あなたは1番と2番ですてに72以上も叩いた。ゴルフのパーは72ですから、ここでお引きとり下さいって。当意即妙のジョークでね、そう言ったそうです。これはほんの一例で、似たような人がいっぱいいる。旅の恥はかき捨て、という諺があるので日本人は旅先でゴルフをするんじゃないのかって(笑い)

量より質の時代へ

——なるほど、これは返答に窮しますね。
「全部が全部とは言えないですが、多かれ少なかれ大人のゴルファーは乱れてる。日本のゴルフ人口は1500万だとか2000万だとか、年間入場者は8000万だ

とか、量だけは増えてますけど、質的にはまことに低い。じゃあどうやって質の向上を図るかって言っても、大人相手では遅いわけですね。このまま放置しておけば、ジュニアも悪い見本ばかり做って育って行く。今、立派な指導者のもとで立派なゴルファーを育てていく策を講じておかないと悔いは100年、200年に及ぶ。日本のゴルフはこの30年ばかりの間で急激にふくれ上がったわけですが、ふくれ上がったのは数だけで質はきわめて低い。質を向上させるためにはジュニアを育てるより手が無いというのが現状ではないでしょうか」

——鉄は熱いうちに打て。

「英米のジュニアの実態を何回か視察に行ってますが、ダラスのあるゴルフ場でジュニアスクールを見学した時など非常に感心しましたね。7歳から15か16歳までの子供が10数名、所属プロにコーチされた後、コースに出て行く。ホールアウトすると、プロが1人ひとりのスコアカードを見て、このホールはどうした、このホールはどうしたって内容を聞き、その都度、適切なアドバイスをする。立派な内容だと、よし、お前はもう1人前のジュニアに育ったから、今後は全米各地で行わせるジュニア競技に出てもらおう、ということと一種のライセンスを与える。これは全部、プロのボランティアだし、コースのほうも無料です。日本とは事情が違うとは言え、彼らにはジュニアを指導し、育成し、立派なゴルファーに仕上げるのがプロとしての、大人のゴルファーとしての義務だという考えがあるわけです。いや義務というより常識ですかね」

——そういう常識が親から子へ、子から孫へ伝えられ、自分たちが大人になった時にまた指導にあたる。「日本のゴルフ界の質を高めるためには、まずその“常識”を行き渡らせることから始めなければならないわけです」

——昨年からでしたか、JGAがジュニア育成委員会を設け、会員を募っていますね、JGAジュニア会員として。この実態はどうなってますか。

「現在の会員は331名(12月1日現在)、はかばかしくありません。ひとつ問題があったのはJGAが会員募集したんですから、傘下のゴルフ場にもっと強力に協力をお願いするべきではなかったかということです」

——主として練習場にお願したようですね、会員集めは。

「なるべく底辺から掘りおこそうという考えがあったからですけど、やはり練習場でボールを打つだけではゴルフの魅力は味わえないし、ルールやエチケットを教えるにしても実戦がともなわないので理解しづらい面があるわけです。それで来年からは加盟コースの協力をいただいて、もっと魅力あるものにしていきたい。それにはPGAやゴルフ場側、そして全国高等学校ゴルフ連盟のような団体の協力が無いと出来ないわけで、わたしも機会あるごとに“演説”をブツてるんです(笑)。現在JGA加盟コースは1166ですが、アンケート調査したところ、練習場のあるコースが672、プロがいるコースが385。指導する人と、その場がないといい指導が出来ないわけですから練習場もありプロもいるコースの協力をいただいて、いくつかモデルケースをつくっていききたいと思ってます。いずれにしてもジュニアにゴルフのやりやすい環境をつくってやりたいんですよ。ゴルフにかぎらず、スポーツは人間形成に役立つ。なにも若い時に金のかかるゴルフをやらなくても、他のスポーツをやればいではないか、という意見もありますが、やはり若い時に正しいゴルフを身につけたほうが将来のためにもいいに決まってるんですから、熱意をもってやりたい、と思ってる子にはやらせてやりたい。これをわれわれ大人の“常識”にしたいと思ってます」

“花札”をクラブに持ちかえってる

——ルールの第1条に〈公正の理念〉ということが言われてますね。これは誰が見ても正しいと思われるようにプレーしなさい、という意味だと思うんですが、大人になってからゴルフを始めると、その〈公正の理念〉が曇るところがある。やはり熱いうちに打たないと……。

「1500万人だか2000万人のゴルファーの中で、そのことを弁えてプレーしてる人が何人いるでしょうかね。花札をクラブに持ちかえたとすぎないような人もいる(笑)。ポピー・ジョーンズも言ってるようにアマチュアのゴルフは良い友を得ることだ、と思っんです。何年前か、アトランタで世界ジュニアが

行われた時にラリー・ネルソンがわざわざ来てくれた。水曜の夕方6時、彼は翌日から試合があるのに、レセプションの会場入口で各国から集まった選手1人ひとりと、よく来た、と、握手を交わす。日本の番になると、ひときわ懐かしそうにして、わたしは毎年日本に行っている素晴らしい友人と再会するのを楽しみにしている、わたしは日本が好きだ。君たちもここへ来て良い友達と良い思い出をつくって帰ってくれ、と言っんです。明日から試合なのに、自宅から3時間もかけてわざわざ来てくれた。向うのプロは彼に限らず、ジュニアにはいつも温かく接してますね」



熱っぽく抱負を語る松野氏(右)と杉山委員(左)

困ったジュニアもいる

——一方、ジュニア自体に問題がないとは言えないのが現状ですね。実は先日、JR線に乗った時に、どこかの高校のゴルフ部員らしいのが団体でバック担いで乗り込んで来た。空いていたので座ったのはまあ、いいとして、その座り方が実に悪い。バックも足も通路に投げ出すようにして座っておしゃべりしてる。これが10数名、団体ですからまことに見苦しいんです。

「ゴルフのエチケットはゴルフをやるときだけ守ってればいいってわけじゃない。即、社会生活のエチケットのはずです。これは先生方の指導にもあると思う。いつだったか、ジュニアの試合があった時に、帽子をあみだにかぶり、上衣のボタンを外してるのがいたので、帽子をかぶるならきちっとかぶれ、

制服を着るならきちっとボタンを掛けろ、それが出来ないようなら出場停止にするぞ、と注意してやった。それを脇で見てた先生があとで、ああいうふうに着せろと厳しく言える人がうらやましい。わたしどもが注意するとすぐに親が出て来るって言う。指導する人がそんなことでは先が思いやられますよね。トイレの中で煙草を吸った者がいたので、即刻、出場停止にしたこともあります。上手い下手の問題じゃない、人間の質を高めるためにやるんですからね。これからはゴルフ場において、なにかと便宜を図ってもらおうと思ってるのに、そういう態度の悪い人間がいたんでは願ひすることが出来なくなる」

——問題はいろいろありますね。

「どこから手をつけたらいいのかわからない(笑)。しかし、なによりも大人全体の理解と指導ですね。もっとPRもしなければならぬでしょう」

——財政面ではどうなんでしょう。

「とりあえず、平成2年度の予算として、JGA理事会にかなりの金額を計上することを考えております。具体的な内容については、これから関係者と十分検討し、できることから一つ一つ実行していきたいと考えています」

——プロ競技は男子も女子も、それからシニアも賞金が上がる一方ですが、その1割でもジュニア基金に回してくれないもんでしょうかね。テレビで、この試合の何割かはジュニアのための育成基金になります、と言えただけで世間にPRできる。

「そうそう、そういうことも含めて、これからはJGAだけではなしに、いろいろな分野の団体や人に働きかけていかなければいけないと思ってます。アメリカなどジュニアゴルフ協会があって、年間200万ドルの予算があるそうです。次代を担う若者をどうやって育てていくか。ただ目先の金を追うようなことばかりしてないで、われわれ大人が、まず目を開けることじゃないですか。子は親を見て育つというじやありませんか。

いろいろ申しましたが、要するにジュニアゴルファーの育成という事業はJGAだけでなく、日本の全ゴルファーが一体となって真剣に取り組む、いかにその環境作りをするかと言うことです。しかし、これは時間と多くの資金を要することは申すまでもありません」

平成元年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 元年9月20日(水)・21日(木) 36ホール・ストローク・プレー

●開催コース 我孫子ゴルフ倶楽部 (6,417ヤード、パー72)

文・菊地 泰司 (KGA広報委員)
写真・石川 博英 (KGA広報委員)

卒還暦男たちのロマン

前日は夜半から風速25m以上という暴風雨であった。朝5時前わが家を出たが、まるで台風と競争している様に高速道路を走った。6時を少々過ぎた頃倶楽部に着いたが、すでに常連の山口梅吉選手



バンカーは池と化し深夜まで排水作業

(横浜)の顔がもう見える。雨も上った様だ。しかし93ヵ所あるという名物のバンカーは全て池と化していた。コース整備と高速道路での事故渋滞も配慮し、スタート時刻を30分繰り下げる事が競技委員会にて決定された。

天災、人災をものともせず

待ち受ける事務局の心配顔をよそに事故渋滞にも拘らず、夫々の方法で何とか定刻前に到着するあたりは、さすがゴルフに通ずる選手ばかりと感心する。7名の欠席者があったが、計147名の選手は、晴れ上った盛夏を思わせる台風一過のコースへとスタートして行った。

年内に満60歳を迎える人という本年度からの出場資格だが、とにかく皆さん若い。そしてよく球が飛び、「昔の60歳とは隔世の感がある。7番202ヤードのショートホールをアイアンで打ってこられるんですから……」と言われる当倶楽部キャプテンの白石常良氏の言葉が印象的だ。

スタートして行く選手のクラブに目を留めてみると、ドライバーからウェッジに至るまで各種さまざま。何十年の歳月のうちに自分に合ったクラブを選び出し、創り出してきたのだろう。これを見ているだけでも人柄や歩いて来られた道、そしてゴルフへの情熱が窺われる。夫々立派な社会的地位にありながら、且つこの年齢でも本当に若々しくゴルフを謳歌されている事に大きな拍手を送りたい。

2日目は殆んど風もなく、薄曇りの絶好のゴルフ日和に恵まれ、選手も新たな意気込みでアウト・インより前日は違った組合わせてスタート。

スコアもぐんぐん伸び前日8位だった片倉和三氏(朝霧ジャンボリー)が最終18番を惜しくもボギーとしながらも73で上り、2日間計151という素晴らしいスコアで初優勝を飾った。



初優勝の片倉和三氏

因みに氏は、昭和3年の生まれて2回目の出場。ドライバーの飛距離は230ヤード位、得意はアイアン。特にパターの由。ゴルフの信条は速い切替と、目標をはっきり決めて打つ事だそうだが、特に同伴された当倶楽部競技委員長の浜口正俊氏等の激励を頂き、カップを手にする事が出来たと感謝されていた。かげながら運営やコース整備に配慮され、そのうえ入賞を果たした浜口氏の健闘は特筆ものだ。

表彰式の席上、15年連続決勝出場の栄誉を讃えられた柳引大吉氏(狭山)にその秘訣を伺ったところ、何でも喰べ、十分な睡眠を取り、常に正しい姿勢を保つ事、また大正2年生まれ最年長出場者清水武男氏(水戸)がいままでトッププレーヤーの座を維持して居られる秘訣は定期的にゴルフをする事、年100回が目標、とのお話しは誠に心強い限りであった。

模範としてエチケット、マナー

ご両者共、背筋がピシッと伸び、爽やかなお人柄が特に印象的だった。勝負にばかりこだわり、ゴルフの真髄であるエチケットやマナーが軽んじられている昨今、プレー中の動作はもちろん18ホールズを終えた後、同伴競技者に帽子を取り、深々と頭を下げ、或いは握手しお互いの健闘を讃え合い、また、クラブ本数の確認を求めるキャディーさん達に笑みを持たえて労をねぎらう光景は、さすがアマチュアゴルフ界を代表するプレーヤーである、つくづく感じた次第である。

最後に2日間に亘り、選手及び大会関係者一同に温かい眼差しで気を配られていた、昭和25年より勤務されているという食堂の名物おばさん(失礼)新保さんからも、さすが名門倶楽部の一端を伺い知る事ができた、末筆ながら感謝の意を表したい。

平成元年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技成績表

元年9月20日(水)・21日(木) 於：我孫子ゴルフ倶楽部 6,417ヤード パー72

順位	選手名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
優勝	片倉 和三	朝霧ジャンボリー	38	40	78	34	39	73	151
2	浜口 正俊	我孫子	37	40	77	38	39	77	154
3	市川 一夫	伊香保	36	39	75	38	42	80	155
4	小川 博道	多摩	39	37	76	38	41	79	155
5	山口 梅吉	横濱	41	40	81	36	40	76	157
5	林 善兵衛	飯能	42	38	80	38	39	77	157
5	芝入 俊雄	跡ヶ崎	39	40	79	39	39	78	157
8	岡野 幸男	日高	39	38	77	39	42	81	158
8	永川 義雄	江戸崎	40	36	76	42	40	82	158
10	神山 弘	総武	44	40	84	40	37	77	161
10	河津 正男	八王子	41	42	83	39	39	78	161
10	今井 昭一	中津川	40	42	82	40	39	79	161
10	大倉 京斗	我孫子	39	43	82	41	38	79	161
10	吉沢 友七	東よみうり	41	39	80	40	41	81	161
10	矢沢 昭美	千葉	42	37	79	39	43	82	161
10	若名 弥平	新千葉	40	39	79	42	40	82	161
10	飯沢 光五郎	武蔵野	38	39	77	40	44	84	161
18	秀口 正	横濱	38	43	81	40	41	81	162
18	井上 裕次	川崎国際	42	39	81	42	39	81	162
18	木元 栄次	鷹の台	41	40	81	38	43	81	162
18	佐藤 博	龍ヶ崎	37	39	76	39	47	86	162
22	浅野 賢	レインボー	40	43	83	42	38	80	163
23	山田 真早志	鷹の台	44	41	85	41	38	79	164
23	山井 剛吉	我孫子	40	44	84	42	38	80	164
23	五木 源吉	桜ヶ丘	42	41	83	39	42	81	164
23	中村 正徳	我孫子	42	39	81	45	38	83	164
23	渡辺 新一	嵐山	39	41	80	42	42	84	164
23	内田 行	内田	43	38	81	42	41	83	164
29	山田 八郎	東 名	41	42	83	39	43	82	165
29	太田 謙雄	八王子	41	42	83	41	41	82	165
29	森本 昭男	柏	43	40	83	43	39	82	165
29	伊藤 和夫	浅見	41	41	82	42	41	83	165
29	荒井 照夫	武蔵野	42	40	82	42	41	83	165
29	島本 邦男	武蔵野	42	38	80	42	43	85	165
35	松野 忠男	沼津	45	41	86	40	40	80	166
35	倉田 金造	藤ヶ谷	42	43	85	42	39	81	166
35	前田 礼一郎	我孫子	42	41	83	40	43	83	166
35	大竹 栄一	武蔵野	44	39	83	41	42	83	166
35	朝井 和也	狭山	43	45	88	37	41	78	166
40	林 悠紀夫	柏	42	42	84	40	42	82	167
40	和田 憲一	藤ヶ谷	40	44	84	42	41	83	167
40	長 宏一郎	唐沢	40	43	83	41	43	84	167
40	横山 寛	鎌ヶ谷	43	40	83	44	40	84	167
40	重内 宏敏	立川国際	44	45	89	38	40	78	167
40	水谷 敏	桜ヶ丘	39	40	79	42	46	88	167
40	大河内 文男	日 高	41	46	87	40	40	80	167
40	谷岡 芳明	真 名	42	44	86	40	41	81	167
48	菅沼 重男	本 厚木	40	46	86	40	42	82	168
48	高木 荘	息月・佐野	40	42	82	42	44	86	168
48	石井 武司	甘 美	40	46	89	41	38	79	168
48	水井 正彦	大 利根	46	42	88	44	36	80	168
48	小川 一三	川 越	40	40	80	47	42	81	168
53	清水 武男	水 戸	42	42	84	41	43	84	169
53	成宮 秋良	横濱	43	42	84	41	44	85	169
53	小宮 五郎	嵐山	41	43	84	44	41	85	169
53	林 善善	戸 塚	42	42	84	43	42	85	169
53	新井 康之	立川国際	41	42	83	43	43	86	169
53	中村 敬	南 福根	41	42	83	46	40	86	169
53	池田 善彦	八王子	43	37	80	44	45	89	169
53	鈴木 政伊	川崎国際	44	43	87	40	42	82	169
53	杉山 沖四郎	武 蔵	39	47	86	42	41	83	169
53	石倉 太次郎	横濱	42	42	84	40	43	83	169
63	坂本 芳郎	八王子	44	42	86	45	39	84	170
63	小倉 英夫	千 葉	44	41	85	41	44	85	170
63	松井 元	常 陸	40	43	83	44	43	87	170
63	井上 朗	鳩 ヶ 谷	39	43	82	44	44	88	170
63	森田 光一郎	皆 川 城	42	45	87	45	38	83	170
63	牧山 輝彦	同 朋	42	44	86	42	42	84	170
69	吉口 文彦	ダイアグリーン	45	41	86	40	45	85	171
69	佐藤 一雄	武 蔵	43	42	85	46	40	86	171
69	加藤 謙	柏	43	42	85	44	42	86	171

順位	選手名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
69	牛久 忠彦	狭 山	43	42	85	46	40	86	171
69	八木 理之	戸 塚	44	41	85	46	40	86	171
69	西田 勇男	鷹之台	40	43	83	45	43	88	171
69	新井 邦史	あさひヶ丘	45	42	87	37	47	84	171
69	高槻 清男	袖ヶ浦	45	41	86	42	43	85	171
77	杉山 英男	鎌 倉	45	46	91	42	39	81	172
77	豊島 隆一郎	日 高	48	39	87	44	41	85	172
77	西田 健久	鎌 倉	43	43	86	43	43	86	172
80	羽川 米豊	唐 沢	41	44	85	43	45	88	173
80	佐藤 達	中 山	42	42	84	48	41	89	173
80	平本 正美	長 竹	46	48	94	39	40	79	173
80	漆原 州二	オーケルヒルズ	42	40	82	42	49	91	173
80	石橋 義夫	東 京	50	39	89	42	42	84	173
80	榎本 致知	水 戸	44	45	89	43	41	84	173
80	矢野 口 侃	穂 高	48	41	89	43	41	84	173
80	岸 一 千	豊 後	42	45	87	43	43	86	173
88	荻津 邦	水 戸	43	43	86	48	40	88	174
88	大塚 成吉	中 山	43	43	86	46	42	88	174
88	蛭田 正	小 金 井	46	46	92	42	40	82	174
88	長谷 雄二	高 槻	43	43	87	43	44	87	174
88	横田 茂男	武 蔵	45	41	86	45	43	88	174
93	栗原 幸彦	水 戸	41	44	85	47	43	90	175
93	青柳 和吉	袖ヶ浦	42	43	85	46	44	90	175
93	斉藤 善治	鎌 倉	40	42	82	49	44	93	175
93	北田 潤	水 戸	42	46	88	44	43	87	175
97	鈴木 忠作	日 高	46	45	91	44	41	85	176
97	高井 俊浩	大 平 台	44	44	88	45	43	88	176
97	長谷川 浩一	桐 生	41	45	86	44	46	90	176
100	松島 直昭	富 士	41	43	84	48	43	93	177
100	野地 正男	日 本	41	50	91	45	43	86	177
100	南宮 範吉	本 厚 木	43	46	89	44	44	88	177
100	稲田 富男	立川国際	41	48	89	44	44	88	177
100	城田 高	川 越	46	42	88	41	48	89	177
105	新村 輝夫	南 富 士	42	42	85	45	48	93	178
105	坂入 弘一	オーケルヒルズ	49	42	91	46	41	87	178
105	本吉 敏男	東 京	45	46	91	47	40	87	178
105	森島 達	浅見	45	42	87	46	45	91	178
109	大矢 得久	浅 井 湖	48	48	96	43	43	83	179
109	本多 実	嵐 山	41	50	91	41	47	88	179
109	川島 二郎	藤ヶ丘	47	42	89	45	45	90	179
109	橋引 大吉	狭 山	43	45	88	45	46	91	179
113	中川 悠	嵐 山	48	48	94	42	44	86	180
113	元道 信幸	本 千 葉	42	52	94	43	43	86	180
113	新田 繁	リバー富士	44	47	91	45	44	89	180
116	安藤 和夫	東京国際	46	46	92	42	47	89	181
116	脇 俊 夫	本 千 葉	46	46	92	45	44	89	181
116	黒木 寛至	藤ヶ丘	48	44	92	45	44	89	181
116	加納 誠	鎌 倉	48	43	91	43	47	90	181
116	伊沢 洋輔	平塚富士見	47	42	89	47	45	92	181
121	豊川 隆	川崎国際	46	49	95	46	41	87	182
121	村上 博一	鳩 山	44	45	89	50	43	93	182
123	星野 健夫	嵐 山	49	45	94	43	46	89	183
123	岡田 良平	戸 塚	46	47	93	44	46	90	183
125	杉野 哲男	藤ヶ丘	45	46	91	50	44	94	185
125	森田 達	中 山	44	47	91	47	47	94	185
125	出野 佳徳	浅見	44	4					

平成元年度 関東グランドシニア ゴルフ選手権競技

●開催日 元年10月9日(月)18ホール・ストローク・プレー

●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部 (6,308ヤード、パー72)

文・菊地 泰司 (KGA広報委員)
写真・北川 裕司 (KGA広報委員)

驚異、優勝スコアは 68ストローク

山口梅吉選手

史上初のエージ・シュート達成



山口梅吉氏

川本眞恵男氏

この日は快晴だった。

天が、永い見事な人生をおくってきた諸氏を、祝福してくれたにちがいない。

出場選手145名、うち明治生まれ11名、それぞれが、緊張の中にも和やかにスタートした。

開催倶楽部の高橋名誉書記が、パーティの挨拶で述べられていたが、第1回大会(昭42年、鷹之台)の参加者はわずか30名だったという。まさしく隔生の感があり、同時に平和な世のありがたさを感じさせられる。

誰もしが啞然

下馬評では、誰も今年初参加組(数え年70歳)の中から優勝者が生まれるとのことだった。そして、スコアは前年度のチャンピオン松野京三氏の74(霞ヶ関、全長6,109ヤード)は出ないだろうというのが大方の予想だった。

ところが、啞然とするスコアが出た。山口梅吉選

手(大厚木、大正9年9月3日生)がなんと68のスコアでぶつぎり優勝したのだ。優勝は予想されていたものの、このスコアだけはまさかまさか、誰一人として思いもよらなかった。

アウト8時18分にスタートした氏は何と35、インで33、計68、で2位の宮田氏(船橋)75を7ストローク離しての優勝だった。もちろんエイジシュートである。

当日の選手としても出場されたKGA常務理事松野京三氏の挨拶ではないが、こういう人はグランドシニアとして競技に出てもらっては困る、という冗談まで飛び出す始末だった。

それにしても60台のエイジシュートは立派なもので、もちろん当大会史上初の快挙である。

ゴルフだけが趣味と云う日頃の鍛錬の結果に対し心から敬服するばかりである。

エイジシュートと云えば今大会出場最古参、川本須恵男選手(大利根)は、今年米寿を迎えたとは思えぬ矍鑠たる姿でプレーをしていた。そして仄聞するに、206回のエイジシュートを達成されているそうである。

クラブにも年輪が刻まれていた

グランドシニアともなるとクラブの揃え方もまた夫々に工夫を凝らし個性豊かである。中でも武内俊夫選手(霞ヶ関)が特筆されるであろう。即ち答えて曰く「私のクラブは清一ではなく、国土無双です」とのこと。麻雀に例えての愉快な語り口だが、要するにクラブ全てが別々のメーカーなのである。アイアン等、メーカーの名前が殆んど見分けにくいまでに手を加えられている。ウッドも蜂の巣状に穴が開けてある。この穴の開ける場所ひとつひとつが、力学的に工夫してあるとのこと。「然しルールは熟読しており決して違反はしていませんよ」とおっしゃる。クラブに賭ける情熱に凄むものを感じた。これもゴルフの楽しみ方の一つであろう。

明治生まれ全選手へのインタビューを試みたところ

ろ、全ての方がコンスタントにゴルフをなさっている事と、芯からゴルフが好きだと答えが共通したものだ。とにかく皆さん、心も身体も本当に若い。この分だとグランドシニアもますます増え、当大会も予選が必要になるのでは……と要らぬ心配も役員の中から聞こえて来た。

最後に古賀競技委員長から、ゴルフ純達の士である各選手が爽やかに和やかに無事プレーを完了された事に対する祝詞と「ゴルフの基本はエチケットから」を身につけられている皆さんから、後輩に、是非ゴルフの本質を伝えて欲しい旨の挨拶があり、和気満々の中にパーティーを終了した。

平成元年度 関東グランドシニアゴルフ選手権競技成績表

元年10月9日(月)エントリー162名(欠席17名、失格1名)於:鷹之台カンツリー倶楽部 6,308ヤード パー72

順位	氏名	所 属	72イン	計	順位	氏名	所 属	72イン	計	順位	氏名	所 属	72イン	計			
優勝	山口梅吉	大厚木	35	33	68	48	田中 実	袖ヶ浦	42	45	87	86	関野 隆	浜松シヤード	48	43	91
2	宮田貞之	船 橋	38	37	75	48	古茶一之	大 利 根	44	43	87	100	真鍋公夫	狭 山	50	42	92
3	浜野 賢	レインボー	38	40	78	48	増田定次	鷹之台	42	45	87	100	菅野 武	杉ノ郷	43	49	92
4	新保衛助	藤ヶ谷	38	41	79	48	田中廣藏	霞ヶ関	40	47	87	100	中島十郎	浜松シヤード	46	46	92
4	前田礼一郎	我孫子	38	41	79	48	内山博治	赤城国際	45	42	87	100	長谷川順治	湯 河 原	47	45	92
4	松野京三	我孫子	40	39	79	48	岡藤武夫	武 蔵	43	44	87	100	多田 清	岡部チサン	45	47	92
4	渡辺松吉	サンコー	38	41	79	48	大内田栄朗	日 本	45	42	87	100	原 康夫	長 野	47	45	92
8	荻津 邦	水 戸	39	41	80	48	内山正春	桜ヶ丘	39	48	87	100	久世 保	武 蔵	50	42	92
8	宗光 厚	水 戸	39	41	80	58	小泉庄二	福 野	45	43	88	107	上津原時雄	GMC八王子	46	47	93
10	中村正信	我孫子	42	39	81	58	林 隆郎	大 利 根	44	44	88	107	吉島 清	土 浦	47	46	93
10	掛村敏生	川 越	41	40	81	58	山中正市	相 模	44	44	88	107	河口恒治	武 蔵	46	47	93
12	高杉彦作	伊豆スカイライン	41	41	82	58	北澤一市	東京国際	44	44	88	107	陣崎 保	一 の 宮	44	49	93
12	清水武男	水 戸	41	41	82	58	宮尾和夫	津久井湖	41	47	88	107	平野善次郎	我孫子	47	46	93
12	小泉保男	大 洗	39	43	82	58	高橋正男	狭 山	44	44	88	107	大野都蔵	唐 沢	47	46	93
12	宮富 保	鷹之台	40	42	82	58	武内俊夫	霞ヶ関	42	46	88	107	粕谷宇吉	東京国際	44	49	93
12	小宮山光正	龍ヶ崎	42	40	82	58	斎藤弘植	霞ヶ関	41	47	88	107	山下英一郎	ラフォーテ	47	46	93
12	花崎 豊	千 葉	39	43	82	58	山中仁之	ダイヤブロン	46	42	88	115	鈴木吉次郎	横 濱	45	49	94
12	山口栄秀	唐 沢	41	41	82	58	蜂谷三郎	日 高	42	46	88	115	新井吾三郎	我孫子	43	49	94
19	井筒武男	龍ヶ関	41	42	83	58	岩井 清	相 模	44	44	88	115	枝廣幹造	鎌ヶ谷	49	45	94
19	吉田正三郎	霞ヶ台	44	39	83	69	柳引大吉	狭 山	44	45	89	115	為貞伸之	ゴウレイクス	46	48	94
19	小倉仁郎	袖ヶ浦	42	41	83	69	浜田良雄	武 蔵	43	46	89	115	大槻 博	江 戸 崎	47	47	94
19	高橋 達	鷹之台	42	41	83	69	増山眞直四郎	浜松シヤード	45	44	89	120	川津 保	嵐 山	47	48	95
23	松村武純	嵐 山	42	42	84	69	奥野邦比古	相 模	41	48	89	120	石井善一	一 の 宮	48	47	95
23	頼富龍太郎	我孫子	42	42	84	69	坂本平一郎	武 蔵	43	46	89	120	三輪善兵衛	程ヶ谷	47	48	95
23	福田国三	浜松シヤード	44	40	84	69	高波謙二松	多 摩	47	42	89	120	小林 康	川 崎	47	48	95
23	阿部善助	鎌ヶ谷	41	43	84	69	河内石太郎	武 蔵	46	43	89	120	伊藤哲治	鷹之台	51	44	95
23	神林 謙	我孫子	45	39	84	69	八木忠男	大 利 根	44	45	89	125	栗原栄二	柏	48	48	96
23	古泉三男	青 梅	42	42	84	69	下村重雄	袖ヶ浦	44	45	89	125	斎藤 亨	長 野	43	53	96
23	菅沼計二	鶴 岡	43	41	84	69	坂井敏男	一 の 宮	44	45	89	125	西原 昇	武 蔵 野	46	50	96
23	吉川清智雄	嵐 山	43	41	84	79	酒巻鉄次郎	我孫子	45	45	90	125	重富清一	袖ヶ浦	49	47	96
23	中島三四郎	浜松シヤード	40	44	84	79	牧山 恭輔	袖ヶ浦	42	48	90	125	金久保真八郎	我孫子	49	47	96
32	小林健祐	柏	44	41	85	79	大場正雄	青 梅	44	46	90	125	青木邦夫	龍ヶ崎	48	48	96
32	高橋忠国	富士小山	43	42	85	79	駒場 雅	日 光	44	46	90	125	谷原長生	狭 山	51	45	96
32	黒石義忠	我孫子	42	43	85	79	後藤 勇	沼 津	48	42	90	132	島田善久治	柏	48	49	97
32	栗原幸彦	水 戸	41	44	85	79	笠原貞夫	日 高	49	41	90	133	山藤芳徳	鎌ヶ谷	48	50	98
32	三上 登	千葉	41	44	85	79	小島武忠	横 濱	42	48	90	134	蛭原 操	船 橋	44	55	99
32	滝沢 廉	東京みどり	42	43	85	86	十代田武平	長 野	44	47	91	134	丸山弥兵衛	鶴 岡	48	50	99
32	佐々木恒利	相 模	42	43	85	86	龍村 晋	東 京	45	46	91	134	川本須恵男	大 利 根	50	49	99
32	伊藤大造	甘 生	41	44	85	86	鈴木義平	船 橋	45	46	91	134	福田富市	浜松シヤード	47	52	99
40	栗原幸彦	水 戸	46	40	86	86	渡辺 亨	武 蔵	45	46	91	134	佐藤康夫	横 濱	51	48	99
40	矢部留太郎	チサン黒羽	45	41	86	86	柴田勝日出	東京国際	48	43	91	139	有光九州男	津久井湖	49	51	100
40	中田正二	霞ヶ関	43	43	86	86	外村 初	相 模	47	44	91	139	小林久次郎	長 野	50	50	100
40	金田 勇	皆 川 城	42	44	86	86	岡田光雄	横 濱	45	46	91	141	鈴木 太郎	相 模	50	51	101
40	尾形行太郎	総 武	41	45	86	86	寺川芳郎	東我孫子	45	46	91	141	藤原英一	龍ヶ崎	50	51	101
40	金森得雄	武 蔵 野	41	45	86	86	鈴木省吾	武 蔵	46	45	91	143	石川誠一郎	武 蔵	52	52	104
40	山角 敏	千 葉	41	45	86	86	増田栄一	日 光	48	43	91	144	岡田 操	龍ヶ崎	51	55	106
40	森川一男	小 川	44	42	86	86	岡崎義雄	袖ヶ浦	45	46	91	失格	柳沢 清	常 陽			
48	斎藤光次	東京国際	42	45	87	86	田島善五郎	総 武	47	44	91						
48	武石小二郎	鹿 沼	43	44	87	86	太田 勝郎	横 濱	47	44	91						

10年たってもハンディは変わらず

——第2回「Hdcp実施状況実態調査」中間レポート——

文：宮元 昭雄(KGA広報委員)

ハンディキャップ委員、とくに正副委員長に必要とされるものは「忍耐、我慢強さ」である。なぜなら委員会を開くたびに10年1日の如き討論で終始するからである——どうすれば実施率を高めることができるか、この倶楽部はなぜ採用してくれないのか等々——

「笛吹けど踊らず」の状況が依然として続いている。この閉塞状況を打破するために、第2回アンケート調査を行ったが(5月15日発送)今号ではその中間報告を記載する。

ハンディキャップの意識は大きく変わりつつある。かつての名誉段位的な意識が薄れ、今やプレーの必須条件のひとつとなった。こうした意識改革の背景には、ゴルフが大衆化され、わが国のアウト・ドア・スポーツの花型スポーツとなったことが大きな要因であろう。

レジャーブームにのってゴルフ場の新設は年々増加しており、JGA加盟倶楽部も現在1166(12月1日現在)コースを数えるまでになった。未加盟倶楽部やパブリック・コースを利用するゴルファーを加えれば、わが国の潜在ゴルファーの人口は、すでに3,000万人を越えているともいわれている。

ハンディキャップは、こうしたゴルファーによる競技の公正を図る目的上、極めて重要なものであることは言うまでもない。

問題あり 少ない回答数

新しいJGAハンディキャップ・システムが実施されるようになって、10年の歳月が経った。しかしこのシステムを積極的に推進するKGAにとってその加盟倶楽部の中に未だ言を左右にして未採用のコースがあることは、悲しむべき問題である。このことに重大な関心を示し、去る11月10日開催されたハンディキャップ委員会では、この対応をめぐる議論が続出した。

同委員会がまとめた、中間報告では、平成元年11月現在、KGA加盟倶楽部390のうち回答を寄せたのが299コース、約77%であった(この回答率自体問題である。事務局よりアンケート発送したのが5月15日、それから3度催促しても未回答倶楽部が94である)。このうち実施している倶楽部が239、つまり79%という数字がでた。

昨年の第一回アンケートでは集計で、83.5%の実施という数値であったが、今回は前回と集計方法を変えて、リゾート・コースや、近く実施予定と回答してきたコースを未実施倶楽部としたため、この数字となった。したがった今回の実施率は極めて正直な数字であるといえる。しかし、問題は、約100倶楽部からの回答がないことである。そのことを考えると、はたして最終的に、その実施率はいくらになるか、興味と不安がつきまとう。

問題あり 未実施理事倶楽部

委員会における議論の焦点も、アンケート回答を寄せない倶楽部がかなりあったという点と、これらの倶楽部の「ハンディキャップ」に対する関心度まで言及された。

討論が進む中で、とくに未実施倶楽部の中に、KGAの理事コースがあることが問題となった。理事倶楽部といえばその県の指導的立場にあり、当然、率先垂範しなければなるまい。こうした事実が存続する以上、連盟が指向する活動方針、決断事に相反し周辺の加盟倶楽部に悪影響を与えているのでは、といったかなり突っ込んだ討議が行われた。

たしかに10年前、JGAの新ハンディキャップ・システムの採用に当たっては、各倶楽部の反応はまちまちであったことは事実だ。

その後、勸奨事項から「規定」として制定され、全加盟倶楽部がこの通達を受け入れるべく指導された。以来10年、現実にはかなりの倶楽部が未だにこのルールを受け入れていない。

このことは連盟の指導力の無さの証拠では……あるいは指導方法に問題があったのでは……、という反省もある委員の意見として出されていた。

古い習慣から新しいシステムに切り替えるむづかしさのなかで、見方によってはあと一步のところ壁に突き当たったともいえる。ハンディキャップ委員会として、新年度はより強行にかつ積極的に問題解決に対応する方針を取り決め、その具体策を練って理事会に上申することも考えているようだ。

当然のことといえばそれまでだが、10年の時間を無駄にすることなく、この際委員会だけの対応で済ますことなく再度、KGA全体の問題として取りあげる必要がある。まずは理事会に大きな期待を寄せたい。

これまではグリーン・システムであれ、手計算方式であれ、その算定方法がJGAシステムにしたがったものであればよい、とりえず新システムの啓蒙促進を重点とする指導をこころがけて来た。最終的には、全国統一されたシステムの完成にある。他の7地区連盟と比較してKGAが先行していることは事実である。その先行責任を果たすためにも、より実施率を高めシステムを完成する義務のあることは当然であろう。

問題あり “自社コン”採用

アンケートの回答でもう一つ注目すべきは、自社コンピューター問題である。

昨今のOA化時代を反映して、殆どどのゴルフ場がコンピューターを導入している。これらは日常業務の効率化と事務全般の合理化を考慮して採用されているものだが、この自社コンを活用して、ハンディキャップの算定作業を行う倶楽部が増加してきたことである。

会員に対するサービスの向上面からも、一石二鳥の効果がありこれから増加することは必然である。

さて、問題はその内容である。具体的な数字に当たってみよう。

自社コン採用と回答した倶楽部は21%の約50である。50倶楽部のうち全国のゴルフ場の各コース・レートを入力しているコースが32倶楽部で、約64%、またストローク・コントロールをやっているコ

ースが96%の48倶楽部という数値になっている。しかし実状は自分のコースのみのコントロールしかやってないというところの方が多そうだ。事務局が某メーカーに問い合わせたところ「インプットは可能だが、ほとんどの倶楽部は自倶楽部のコース・レート数値のみでよい、つぎに同県の近接倶楽部、たまにKGA加盟全倶楽部のコース・レートを入れてほしいとの要望がある」とのことだった。

全国1100倶楽部(1月10日現在)のJGA加盟クラブのコース・レートを自社コンに入力することは、一見大変な作業に思える。しかし、このことはJGAハンディキャップシステムの基本にかかわることである。この自社コン問題は新たな頭痛の種となったことは確かである。

いづれにせよ委員会としては、この新しく提起されたコンピューター問題を含めて今後その研究と早急な対応を迫られよう。

問題あり 未採用の理由

アンケートによって判明した未実施倶楽部の未採用の理由として、「JGA方式に準じた方法でやっている」と回答した倶楽部が圧倒的に多く、ついで「コンピューター導入時に検討したい」とするもので、これらの倶楽部については、今後の委員会の指導によって理解を深めていくことは可能であろう。

しかし中には「倶楽部の委員会が導入を認めない」「アマチュアは所属倶楽部のハンディキャップで十分である」などの回答もあり、また「会員から要望がない」とか「システム導入は専門職員を必要とし費用がかかるので困る」など、本能的に意識改革を必要とする倶楽部もあることは重要な問題として受け止めなくてはなるまい。

今後も当事者は今一度、このハンディキャップの重要性について認識を新たにしたいいただきたいものである。

平成二年度からKGAの組織も変更されることになった。

いうまでもなく、その目的は連盟活動の円滑な運営、懸案事項の解決といったことであろう。ハンディキャップ問題もその大きな課題である。

関係諸氏に期するところ大である。

ゴルフQ&A

今回は、前号で紹介しました「ルール研究会」で出された質問の回答を掲載します。

Q-1 「ゴルフ規則解釈の手引き」P158

規則26-1における「合理的な立証」の意味で「立証は球がハザード内にあることを疑問の余地もなく示すものでなくてはならない。(26-1/1)とあるが、「しぶきの音がした」の様に、示すことでは合理的な立証にはならないのか？

A-1 プレーヤー自身の主張、証言だけでは合理的な立証とはなりません。立証するためには(イ)相手、同伴競技者、競技委員に対しても納得させるだけの証拠が必要です。

(ロ)また判断の際には、区域の地理的条件(池の周辺が整備されていて、深いラフ、植木などがなく、一見フェアウェイのような場所。このような場所では、周辺を探しても球が見つからない場合は、池に入ったものと判断してもよい。)も参考となります。

(ハ)「しぶきの音がした」あるいは「水しぶきが上がった」だけでは、ウォーター・ハザードに入ったという合理的立証にはなりません。なぜなら、球の勢いで飛び出すことあるいは水鳥の着水などよくありますから。

Q-2 定義29-c「委員会がコースと不可分の部分と指定したすべての構築物」について、具体的な例をあげてください。

A-2 コースに設置された人工物で、コースに必要なものをさします。具体的には、ティ・グラウンド、グリーン、バンカーなどの構築表面や側面などです。

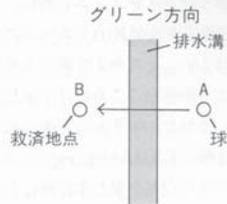
Q-3 規則24-2b(i)(c)に「その障害物の上を越

回答：河西幹一・日本ゴルフ協会ルール委員
関東ゴルフ連盟競技副委員長

えたり、中または下を通して測ることなく」とあるが、具体的な例をあげてください。

A-3 球がスルー・ザ・グリーンにある場合、救済を受ける地点を決める際には、その地点と、現に球のある地点の間に障害物が介在してはならない、という事です。ただし、救済を受ける地点を決めてから介在するぶんにはかまいません。

詳述すれば、右打ちプレーヤーの場合、規則で定められた、その球にもっとも近く、かつボールに近よらずクラブを振ることのできる地点は左側のB地点



である。(右側にドロップする場合は、元の位置よりも遠くなる)そのB点を定める時は、左側にて溝の淵に近くクラブを振ることのできる地点にベックなどをさしておき、右側の球を拾いあげ、B点よりワンクラブ・レンジス以内でドロップしなければならない。規則の制約は以上の行動をとって、B点を定める前にいきなり球を拾い上げ障害物の上を越えてB点にドロップすることを禁止する意味がある。しかし前記の順序をふんでB点を決めた後は、溝の上を通してドロップすることを禁止していない。

Q-4 二重救済、加重救済、公正の理念、について規則書では明確に文章化されているのでしょうか？

A-4 規則書には、指摘の語句はありません。しかし、一般的に次記のようなケースを指しているようです。

二重救済=加重救済

(イ)動かさない障害物から救済を受けて、ドロップしたところ別の障害物がスイングの妨げとなり、その第2の障害物からも救済を受けた場合。

(ロ)修理地内に動かさない障害物があり、意図するスイングの妨げとなり、先づその障害物からの救済で修理地内にドロップ、その後さらにR25-1bにより救済を受けた場合。

(ハ)カジュアル・ウォーターの中の動かさない障害物に寄りかかっている球。この場合R24-2bを援用し、さらにR25-1bも併用して救済を受けられる。

公正の理念

全てのゴルファーが良識的・常識的に納得できるケースを指しています。

(イ)旗竿と一緒に持ち上がったカップ(ボールライナー)に球が当たった。

(ロ)ハザード内で、すってクラブや手がハザードに触れる。

(ハ)鳥の巣に入った球。

(ニ)バンカー内の球に、後からプレーした同伴競技者のディボットが乗った場合。

(ホ)球が蜂の巣の近くにあり、プレーヤーに危険を与えるような場合。

以上のようなケースは、無罰にて処置又は救済ができます。

Q-5 樹木の支柱が障害になったのでドロップ

緊急のお知らせ

クラブ・フェース溝の30度測定法実施の件

上記の件につき、過日日本ゴルフ協会より各地区連盟及び全加盟倶楽部に通達が届きました。(10月7日付)

ついでに、12月6日関東ゴルフ連盟競技委員会として、右記の通り決定いたしましたので、よろしくお取り計らいください。

ブをしたら、今度は道路にスタスンがかかった。この場合の救済は？

A-5 R24-2bを重ねて援用し、救済可能。(Q-4 二重救済参照)

Q-6 Aのティ・ショットは植え込みの中に入り、同伴競技者のBが見たところ、とても打てそうな状態ではなかった。しかし、Aは植え込みの横に道路があったので、その障害物よりの救済を受け、ショットしてしまっただけ。

A-6 もともとその障害物がそこに介在しなかったら、どうなのか(打てるか、打てないか)を先づ問題として判断すべきです。この場合はR24-2bの違反であり2打罰となります。

Q-7 グリーン上で素振りをしていたところ、着ていたカッパにグリップエンドが引っ掛かり、球を誤って打ってしまった。球はバンカーに入ってしまった、競技者はそこからプレーを再開したが、処置は正しかったか？

A-7 誤って動かした球は、R18-2に従い、一打罰を科し元の個所にプレースしなければなりません。それを怠ったこのケースでは、2打罰となります。

記

- 平成2年度より関東ゴルフ連盟主催全競技に適用する。
(関東アマ、女子、シニア、グランドシニア、ジュニア、倶楽部対抗、関東月例の各子選、決勝とも)
- 各加盟倶楽部競技については、拘束せず自主性に任せる。

なお、一般プレーについては、30度測定法の実施が1996年1月1日よりのため、当然のことながら適用いたしません。

1990年度関東ゴルフ連盟主催競技実施要項

月	日	曜	競技名	開催コース	競	
					方 法	参 加
5	11	金	関東女子予選 第1ブロック 第2ブロック	甘 楽 オーク・ヒルズ	18S //	1.加盟倶楽部各種女子会員 2. JGA HDCP 18まで 3.未実施倶楽部は年間ベストカード10枚で査定し16まで
5	15 18 14 18 18 14	火 金 月 金 金 月	関東アマ予選 第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック 第4ブロック 第5ブロック 第6ブロック	青 梅 寄 居 大 相 模 唐 沢 ・ 三 好 加 茂 スプリングフィルズ	18S // // // // //	1. JGA HDCP 8まで 2.未実施倶楽部は年間ベストカード10枚で査定し7まで 3.前年度東日本パブリック・アマ2～10位 4.前年度関東ジュニア高校2～10位・中学1～3位
5	22 23	火 水	関東女子決勝	相 模	18S } 36S //	1.予選通過者 2.関東女子前年度10位まで
6	4	月	関東倶楽部対抗予選 東京地区	相 武	18S	任意参加 決勝開催倶楽部は、予選競技に出場することは出来ない
5	29	火	埼玉地区	岡 部 子 桑	//	
28	月	千葉第1地区	千葉スプリングス	//		
28	月	千葉第2地区	長 南	//		
28	月	神奈川地区	中 津 川	//		
28	月	茨城第1地区	霞 ヶ 浦 出 島	//		
28	月	茨城第2地区	浅 見	//		
29	火	栃木第1地区	那 須 子 桑	//		
29	火	栃木第2地区	新 宇 都 宮	//		
30	水	群馬地区	上 毛 高 原	//		
28	月	静岡地区	愛 護	//		
30	水	長野地区	諏 訪 湖	//		
1.9	20	水	新潟地区	上越国際十日町	18S	
6	12 13 14	火 水 木	関東アマ決勝	総 武 ・ 印 旛	18S } 72S // } 36S }	1.予選通過者 2.月例総合成績40位まで 3.前年度関東アマ5位まで 4.前年度関東オープン・アマ3位まで 5.前年度関東ジュニア高校男子の部1位
6	25	月	関東倶楽部対抗 決勝	平 塚 富 士 見	18S	1.各ブロック予選通過チーム
7	24 25 26	火 水 木	関東ジュニア予選	ノーザン錦ヶ原	18S // //	1.競技当日年齢18歳までの全日制中・高校生で関東地区在住者 (静岡、長野以東新潟以西)
8	1 2	水 木	関東ジュニア決勝	武 蔵 (笹 井)	高校男子18S } 36S 18S } 中学男子18S } 女子18S }	1.予選通過者 2.前年度高校男子5位までの者 3.中学、女子は前年度優勝者 4.主催者特別承認者
8	31	木	関東オープン	東 ノ 宮	18S } 72S // } // }	1.アマ 関東アマ40位まで 前年度アジアアマ日本代表 (関東在住)
9	1 2	金 土 日				
9	7 3 3	金 月 月	関東シニア予選 第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック	十 里 木 東 松 山 土 浦	18S // //	1.年内に60歳を越える者 2. JGA HDCP 16まで
9	18 19	火 水	関東シニア決勝	取 手 国 際	18S } 36S // }	1.予選通過者 2.前年度関東シニア10位まで
10	16	火	関東 グランドシニア	程 ヶ 谷	18S	1.数え年70歳以上 2. JGA HDCP 22まで

資 格	技			備 考
	予選通過基準	授賞範囲	参加料	
4.前年度関東ジュニア選手権3位までの者 5.関東学連推薦若干名 6. KGA特別承認者	各ブロック60位まで	メダリスト	予選決勝を通じ 20,600円 (税600円)	
5. KGA後援各県アマ5位 (茨城、埼玉、神奈川、静岡) 6. KGA後援各県オープン5位 (新潟、栃木、茨城、埼玉、神奈川) 7.関東学連推薦若干名 8. KGA特別承認者	各ブロック17位まで	メダリスト	予選決勝を通じ 20,600円 (税600円)	
3.月例総合成績10位まで 4. KGA特別承認者	全員2日間プレー	1～5位	シード選手のみ 20,600円 (税600円)	
		各ブロック予選 優勝チーム 個人メダリスト	予選決勝を通じ 154,500円 (税4,500円)	
			予選決勝を通じ 154,500円	
6.前年度東日本パブリック・アマ1位 (関東在住) 7.前年度アジアアマ日本代表(関東在住) 8. KGA特別承認者	前半36Sの上位65位 までが後半に進出	1～5位	シード選手のみ 20,600円 (税600円)	
2.開催倶楽部チーム		優勝、準優勝 個人メダリスト	開催倶楽部のみ 154,500円 (税4,500円)	
2.主催者特別承認者	高校男子150人 中学男子12位 女子12位	メダリスト	予選決勝を通じ 5,150円 (税150円)	
	高校男子前半18Sで 80位までが後半進出	高校男子1～5位 中学男子1～3位 女子1～3位	シード選手のみ 5,150円 (税150円)	
2.プロ 関東オープン歴代チャンピオン // 前年度15位まで 関東プロゴルフ協会選考85名 3. KGA特別承認者	前半36Sの上位 60位(含アマ)までが 後半に進出	プロ賞金3,000万円 アマ1～3位 // 入選記念品 プロ・アマNHK杯	加 盟 20,600円 (税600円) 加 盟 外 25,750円 (税750円)	
3.未実施倶楽部は年間ベストカード10枚 で査定し14まで 4. KGA特別承認者	各ブロック40位まで	メダリスト	予選決勝を通じ 20,600円 (税600円)	
3. KGA特別承認者	全員2日間プレー	1～5位	シード選手のみ 20,600円 (税600円)	
3.未実施倶楽部は年間ベストカード10枚 で査定し20まで 4. KGA特別承認者		1～5位	15,450円 (税450円)	

分科委員会

分科委員会

元年度第5回月例競技委員会 議事録

日 時 平成元年10月3日(火) 正午
場 所 JGA会議室
出席者 松野委員長、山崎・川島副委員長、
松岡、本吉、大久保、岡野、嶋田、
各委員 学生連盟委員

討議及び決議事項

1.9月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

絶好のコースコンディションに恵まれ、無事に終了した。パーティも倶楽部側の配慮により、ミーティングとパーティが分かれて行われ、理想的な形であった。エントリー数他は以下の通り

開 催 日 平成元年9月26日(火)
コ ー ス 江戸崎カントリー倶楽部
エントリー 119名(男子88名、女子31名)
欠 席 者 数 事前連絡 6名(男子5名、女子1名)

当日連絡 1名(女子1名)
出 場 者 数 112名(男子83名、女子29名)
プレーオフ 男子2名
宮 辰夫(習志野)
森永 正隆(武蔵)

3. 10月月例出場者資格の件
男子 560名(+18) 女子 232名(+22) 以上を確認した。

4. 10月のテーマ
・ティ・グラウンドの前方を横切らない
・プレーの迅速化

元年度第6回月例競技委員会 議事録

日 時 平成元年10月26日(木) 正午
場 所 JGA会議室
出席者 山崎副委員長、本吉、大久保、岡野 各委員 学生連盟委員

討議及び決議事項

1.10月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

絶好の秋日和に恵まれ、トラブルもなく終了した。距離が長く、風の影響で、好スコアではなかったが、優勝スコアは男子75、女子82とまずまずの成績であった。

エントリー数他は以下の通り
開 催 日 平成元年10月20日(金)
コ ー ス 紫カントリークラブ

エントリー 134名(男子96名、女子38名)
欠 席 者 数 事前連絡 6名(男子5名、女子1名)

当日連絡 4名(男子4名)
出 場 者 数 124名(男子87名、女子37名)
3. 10月月例出場資格者確認の件
男子 579名(+19) 女子 250(+18) 以上を確認した。

4. 11月のテーマ
・ボールマークの修復の徹底
・ティ・グラウンドの前方を横切らない
・プレーの迅速化

平成元年度第3回広報委員会委員 議事録

日 時 平成元年10月16日(月)正午
場 所 JGA会議室
出席者 竹井委員長、深井副委員長
石川、片山、菊地、北川、杉山 各委員

討議及び決議事項

1.「KGAニュース」第28号総括

各委員より次記のような活発な意見が出され、総括を行った。
・これまでの号にはない内容である。読ませる努力の跡が各頁に見られ、一気に読ませた。写真構成のドキュメント「オープン24時間」は良い企画である。

・一部の記事に重複する部分がある。若干気になった。
・キャディーの座談会は「開き記事」程度でよかったのではないかと。
・加盟倶楽部のキャディーには参考になる記事と考える。

・どの企画も問題提起と主張がある。しかし、機関誌としての矩を越えない配慮も必要である。

2.「KGAニュース」29号編集企画
事務局案のうち、理事長インタビューについては、竹井広報委員長と新副理事長3氏との対談に変更することとした。

・テーマ「これからのKGA」
・質問事項については、各委員が事務局に提出する。
・発行日 平成2年1月1日付。

3.その他
一部の委員より下記の意見、要望が出された。

・KGAニュースの編集方針は理事会の基本方針にのっとったものでなければならぬ。そのためには、理事会は今後のKGAのあり方を明確なポリシーとして示してほしい。

元年度第4回コース・レート 委員会議事録

日 時 元年10月30日(月)正午
場 所 JGA会議室
出席者 尾岡委員長、新井副委員長、小室、
前川、松岡、諸戸、内藤、中野、
佐久間 各委員

決議事項

1.三島スプリングスカントリー倶楽部以下13倶楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

(1)三島スプリングスカントリー倶楽部
ベントグリーン
バック・ティ 71.2
レギュラー・ティ 69.0

(2)ベルエアカントリークラブ
ベントグリーン
バック・ティ 71.6
レギュラー・ティ 69.6

(3)妙義スプリングスカントリー倶楽部
ベントグリーン
バック・ティ 72.0
レギュラー・ティ 70.0

(4)斑尾高原カントリー倶楽部
ベントグリーン
バック・ティ 71.1
レギュラー・ティ 69.0

(5)真理谷カントリー倶楽部
ベントグリーン
バック・ティ 73.3
レギュラー・ティ 70.7

(6)東京バーディッククラブ
コーライグリーン
バック・ティ 72.4
レギュラー・ティ 70.4

(7)秋山カントリークラブ
ベントグリーン
バック・ティ 71.1
レギュラー・ティ 69.3

(8)甲斐駒カントリークラブ
コーライグリーン
バック・ティ 69.2
レギュラー・ティ 67.0

(9)新海ゴルフ倶楽部
ベントグリーン
バック・ティ 70.8
レギュラー・ティ 69.6

(10)中条ゴルフ倶楽部
ベントグリーン
バック・ティ 72.5
レギュラー・ティ 69.5

(11)サニーフィールドゴルフクラブ
ベントグリーン
バック・ティ 72.3
レギュラー・ティ 69.2

バック・ティ 70.8
レギュラー・ティ 69.2

(9)新海ゴルフ倶楽部
ベントグリーン
バック・ティ 70.8
レギュラー・ティ 69.6

(10)中条ゴルフ倶楽部
ベントグリーン
バック・ティ 72.5
レギュラー・ティ 69.5

(11)サニーフィールドゴルフクラブ
ベントグリーン
バック・ティ 72.3
レギュラー・ティ 69.2

(12)ユニオンエースゴルフ倶楽部
東・南
コーライグリーン
バック・ティ 71.0
レギュラー・ティ 68.4

ベントグリーン
バック・ティ 71.7
レギュラー・ティ 69.3

東・西
コーライグリーン
バック・ティ 70.1
レギュラー・ティ 68.0

ベントグリーン
バック・ティ 71.2
レギュラー・ティ 68.9

南・西
コーライグリーン
バック・ティ 70.7
レギュラー・ティ 69.0

ベントグリーン
バック・ティ 71.7
レギュラー・ティ 70.0

(13)三井の森科ゴルフ倶楽部
東・南
あかまつ・からまつ
ベントグリーン
バック・ティ 71.6
レギュラー・ティ 69.6

あかまつ・しらかば
ベントグリーン
バック・ティ 70.5

レギュラー・ティ 68.8
からまつ・しらかば
ベントグリーン
バック・ティ 70.7
レギュラー・ティ 68.9

2.コース・レート査定スケジュールの件
10月30日現在、審査のあった6倶楽部の査定日を決定した。

3.その他
①査定の難易度について
今回査定の真理谷カントリー倶楽部に代表されるように、最近、フェアウェイ、グリーンなどに強いアンジュレーションをつけ難易度をあげているコースがある。今後、そのようなコースの場合、難易度をどう査定するか、次回委員会までの検討課題とすることを確認した。

②倶楽部委員のラウンドについて
査定委員とのラウンドを希望する倶楽部もあるが、査定のためのラウンドであるので、禁止することにした。

月例競技成績表

(平成元年度9月月例)

9月26日(火) 江戸崎カントリー倶楽部

男子		参加83名			
順位	氏 名	倶 楽 部	アウト	イン	合計
1	宮 辰夫	習志野	35	35	70
1	森永 正隆	武蔵	36	34	70
3	岡田 光史	嵐山	36	35	71
3	加藤 一彦	千葉	35	36	71
5	沢田 信弘	東ノ宮	36	36	72

(東西)コース・レート 71.7

※ 8月度のプレー・オフが小川、得能、竹石 三氏で行われ、小川透氏(岡部サチン)が優勝。

(平成元年度10月月例)

10月20日(金)紫カントリークラブ

男子		参加87名			
順位	氏 名	倶 楽 部	アウト	イン	合計
1	岡田 光正	嵐山	37	38	75
2	日暮 俊明	扶桑	39	37	76
2	小川 透	岡部サチン	40	36	76
2	嶋田 憲人	青梅	41	35	76
5	松崎 良一	小田原	37	40	77
5	本山 年夫	ザ・レイクス	38	39	77
5	鹿窪 一郎	セントラル	38	39	77
5	森田 徹	ニッソー	39	38	77
5	加藤 一彦	千葉	39	38	77
5	石井 孝一	上総富士	39	38	77
5	沢田 信弘	東ノ宮	41	36	77

コース・レート 73.5

※ 9月度のプレー・オフが森永、宮岡氏で行われ、森永正隆氏(武蔵)が優勝。

女子		参加29名			
順位	氏 名	倶 楽 部	アウト	イン	合計
1	三木恵美子	富士	34	36	70
2	猪股美恵子	上総富士	37	41	78
2	湯原 光葉	鳥山城	40	38	78

(西南)コース・レート 69.6

女子		参加37名			
順位	氏 名	倶 楽 部	アウト	イン	合計
1	三木恵美子	富士	40	42	82
2	加藤 勝栄	平塚富士見	41	42	83
3	湯原 光葉	鳥山城	41	43	84
3	田村千代子	鎌倉谷	42	42	84

コース・レート 71.0

平成2年度 月例競技日程表

月	開催日	開催コース	申込締切 (2週間前)
1	1月23日(火)	程ヶ谷	1月9日(火)
2	2月26日(月)	浜野	2月10日(土)
3	3月23日(金)	高坂	3月9日(金)
4	4月23日(月)	総武・印旛	4月9日(月)
6	6月22日(金)	筑波	6月8日(金)
7	7月20日(金)	東ノ宮	7月6日(金)

月	開催日	開催コース	申込締切 (2週間前)
8	8月17日(金)	我孫子	8月3日(金)
9	9月28日(金)	霞ヶ関	9月14日(金)
10	10月22日(月)	日高	10月8日(月)
11	11月9日(金)	江戸崎	10月26日(金)
12	12月7日(金)	茨城	11月22日(木)

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」(平成元年1月31日現在)の変更事項は下記のとおりです。お手数ですが、訂正と加筆をお願いします。

理事長

- ・あづみ野カントリークラブ
(新) 清水八十治
(旧) 篠原 周一
- ・ロイヤルカントリークラブ
(新) 平野 雅美
- ・鶴舞カントリー倶楽部 (新) 笠間祐一郎
(旧) 水上 達三
- ・白鳳カントリー倶楽部 (新) 笠間祐一郎
(旧) 水上 達三
- ・大箱根カントリークラブ
(新) 仁杉 巖

倶楽部代表者

- ・ロイヤルカントリークラブ
(新) 平野 雅美
(旧) 金子 雅美
- ・鶴舞カントリー倶楽部 (新) 笠間祐一郎
(旧) 水上 達三

- ・白鳳カントリー倶楽部 (新) 笠間祐一郎
(旧) 水上 達三
- ・大箱根カントリークラブ
(新) 仁杉 巖
(新) 山口 弘毅
(旧) 堤 義明
(旧) 宮内 巖
- ・愛鷹シックスハンドレッドクラブ
(新) 織戸總三郎
(旧) 西野 譲介

支配人

- ・松峯カントリー倶楽部 (新) 石田 博之
(旧) 玉川幸一郎
 - ・富士宮ゴルフクラブ (新) 太田 光雄
- 東京事務所
- ・ロイヤルメドウゴルフクラブ
(新) 〒102 千代田区準町3-16
住友半蔵門ビル1階
 - (旧) 〒102千代田区平河町2-4-14
イ・アイ・イ平河ビル4階